



小無田鶴Ⅱ遺跡より阿蘇山を望む

創刊に寄せて

特に“もの”から“こころ”の時代になったと言われる昨今、生きがいや精神的な充足を求めてさまざまな文化活動が盛んになっています。歴史文化についても、佐賀県の吉野ヶ里遺跡の発掘や奈良県の長屋王邸宅跡の本筋の発見など、先祖の生活解明に考古学者や古代史ファンはもとより、すべての人が関心を寄せているところです。

しかし、文化遺産の保存活用を取り巻く条件は、開発行為との調和や文化財調査員の不足など大変困難な課題を抱え苦慮しています。この度、『文化財通信くまもと』を発行することになり、行政が何をしているのかを広く県民の皆様にお知らせし、御理解と御協力をいただきながら、ふるさとの文化財の保護に努めたいと考えています。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

埋蔵文化財って何？

文化財を含む土地を一般に「遺跡」と呼んでいます。遺跡には、遺構（当時の家や建物のあと、道、古墳など）と遺物（土器、石器、木器など）をともないます。古墳などは地上に築かれていますので大きさは分かりますが、地下に埋もれている場合は、遺跡の内容や大きさなどはよくわかりません。

遺跡は同じ時代のものでそれぞれ異なっていて個性をもっています。発掘調査をして初めてその性格がわかるものです。開発事業の際に発掘調査するのはそのためで、調査すれば何か新しい事実が見つかるのも埋蔵文化財の特色です。



弥生時代のすてられた土器のようす(夏女遺跡)

どんな仕事をするのだろうか？

文化財の調査には、研究などが目的の学術調査と、土木工事などに伴う緊急調査とがあります。昭和63年度、熊本県全体での発掘届け・通知は、231件ですが、このうち学術調査は3件にすぎず、緊急調査の多さがうかがえます。

さまざまな開発の増加に伴い、開発と文化財保護との関係は国民的課題の一つとなっていますが、文化財を大切にするため、開発する人たちの理解と協力を得ながら、その保存に努めています。しかし、やむを得ず開発によって文化財が破壊される場合は、事前に記録を残すための発掘調査をおこなうようにしています。



発掘のようす(小無田鶴田遺跡・は場整備)

熊本県教育委員会がおこなう発掘調査は、文化課の文化財調査第1係・第2係（調査員28名）で担当しています。第1係は田畑の基盤整備や農道建設、第2係は道路建設、河川改修、工業団地造成、公共施設の建設などの土木工事関係が主な仕事となっています。これらの調査には正確さと多大な労力を必要とし、またその調査結果を本にまとめるなど、相当な時間がかかります。

そこで、発掘調査や整理の進め方をわかりやすく解説しましょう。



すてられた貝のようす(黒橋貝塚・河川改修)

調査のすすめ方は？



① 踏査(遺跡かどうかを調べます)



② 試掘(ためし掘りをし、遺跡の様子を調べます)



③ 発掘(遺構や遺物を見つけます)



④ 測量(地形を図に表わします)



⑤ 実測(遺構や遺物を図に表わします)



⑥ 撮影(遺構や遺物を写真やビデオにとります)



⑦ 水洗い(遺物についている土を洗い落とします)



⑧ 接合(割れている土器などをつなぎ合わせます)



⑨ 実測(接合した土器・石器などを図に表わします)



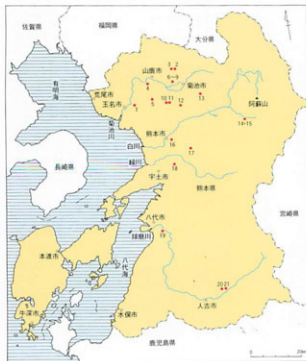
⑩ 報告書(調査の成果を本にまとめ、公表します)

(調査)

(整理)

平成元年度埋蔵文化財調査一覧

No.	遺跡名	所在地(立地)	事業名	調査期間	成果(時期)
1	中津留	玉名市梅林(低)	ほ場	H2.2~3	中世遺物散布(中)
2	鞠智城	熊本郡菊鹿町(台)	国庫	H2.1~3	竪穴住居(古)掘立柱倉庫跡群、(奈~平)、縄文(晩)
3	灰塚古墳	"(丘)	畑総	~H1.4	石蓋土墳墓・木棺墓、鉄斧(古)
4	寒原	熊本郡鹿央町(台)	風上2の丘	H2.2~	石棺(古)
5	下原	熊本郡植木町(台)	ほ場	H2.2~3	竪穴住居跡、掘立柱建物跡(奈~平)
6	うてな	菊池郡七城町(台)	ほ場	H1.4~9	方形周溝墓(古)、竪穴住居跡・掘立柱建物跡(奈~平)
7	水決	"(台)	ほ場	H1.4~5	羨棺群(弥~前~中)
8	岡田	"(台)	ほ場	H1.6~9	方形周溝墓、箱式石棺(古)
9	一本松	"(台)	県道	H1.12	遺物散布地(縄~後)
10	上生・上の原	菊池郡西合志町(台)	ほ場	S63.1~	集石(縄~早)、竪穴住居跡(奈平)、土壇墓(古)
11	沖田	"(丘)	ほ場	H2.2~3	竪穴住居跡(古)、縄文土器(縄~後~晩)
12	豆ヶ原	菊池郡合志町(丘)	ほ場	H1.6~8	道路跡、溝(中)
13	無田原	菊池郡旭志村(山)	畑総	H1.7~H2.3	先、縄~早、前、後、晩の集落跡
14	西左敷	阿蘇郡久木野村(丘)	ほ場	H1.7~10	先・縄~早・前・晩、掘立柱建物跡(中)用水路(近)
15	小無田鶴Ⅱ	"(丘)	ほ場	H1.11~H2.2	縄~前、竪穴住居跡(古)、墓、道路(中~近)
16	国分前寺	熊本市出水町(低)	区画整理	H1.7~12	地業跡(奈~平)、掘立柱建物跡(中)、縄~早
17	二子塚	上益城郡嘉島町(台)	工場	S63.10~	燐渣集落(弥~後)、古墳、掘立柱建物跡
18	黒橋貝塚	下益城郡城南町(河)	河川改	H1.10~	低湿性貝塚(縄~中~後、弥~後、奈~平)
19	今泉製鉄跡	八代郡坂本村(段)	河川改	H1.11~12	掘立柱建物跡、溝、土坑(近)
20	夏女	球磨郡錦町(台)	農道	H1.9~H2.2	集落跡、青銅鏡(弥~後)
21	木上竜口	"(山)	国営川辺	H1.10~12	土坑、おとし穴(縄~早)、土器片(縄~早~前~晩~弥)



(凡例)

- 立地については、それぞれ台地、丘陵地、山地、段丘、低地、河川の頭文字をつけた。
- 成果の時期は、次のように記す。
先土器時代——先 奈良時代——奈
縄文時代 早期—晩期—— 平安時代—平
縄~早、前、中、後、晩 中 世—中
弥生時代 前期—後期—— 近 世—近
弥~前、中、後
古墳時代—— 古

(編集後記)

このパンフレットは、文化財の保護と活用を目的として作成しました。熊本県内には、まだまだ数多くの文化財が眠っています。みなさんの近くで調査がある時には、ぜひ気軽に立ち寄って下さい。
ご意見・ご感想をお待ちしています。

創刊号

平成2年3月31日発行
発行 熊本県教育庁文化課
熊本市水前寺6丁目18-1
電話 096-383-1111番
印刷 株式会社有明印刷

01 教委 教文
④ 002